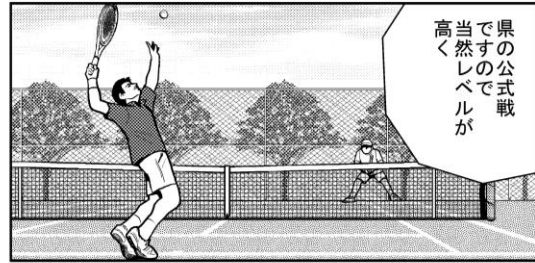
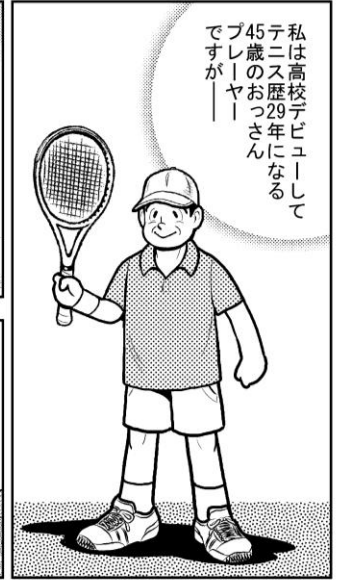
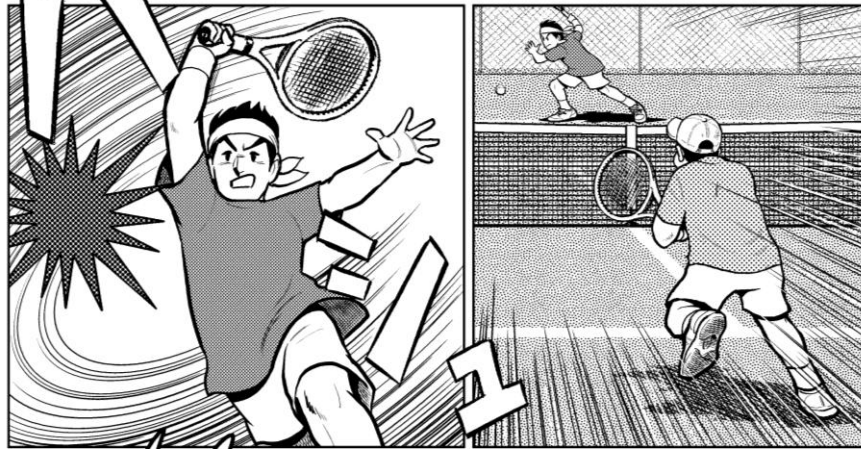
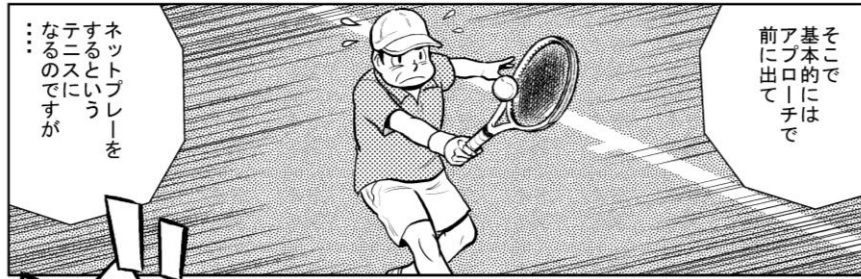
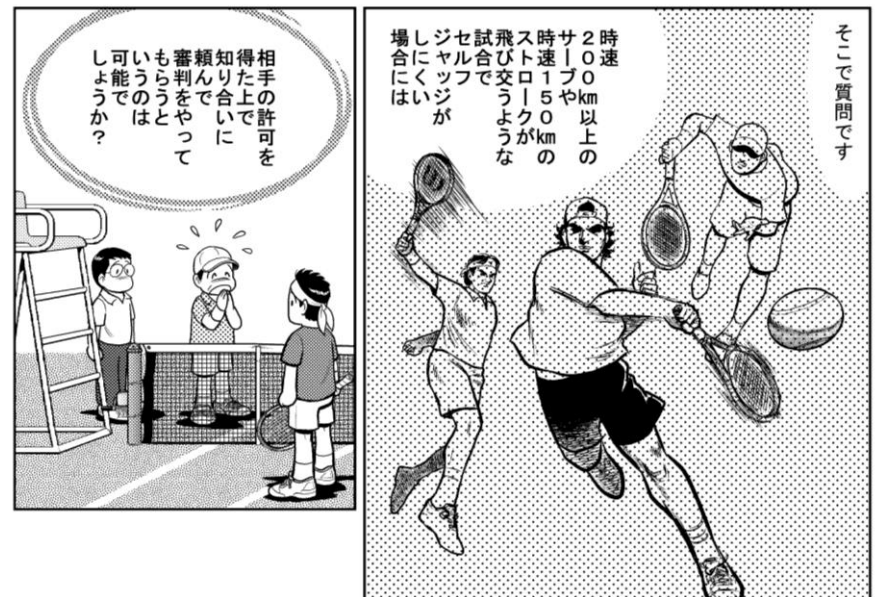
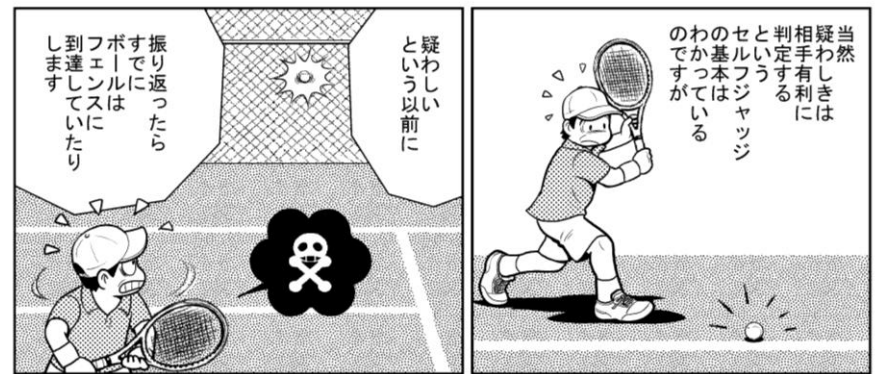
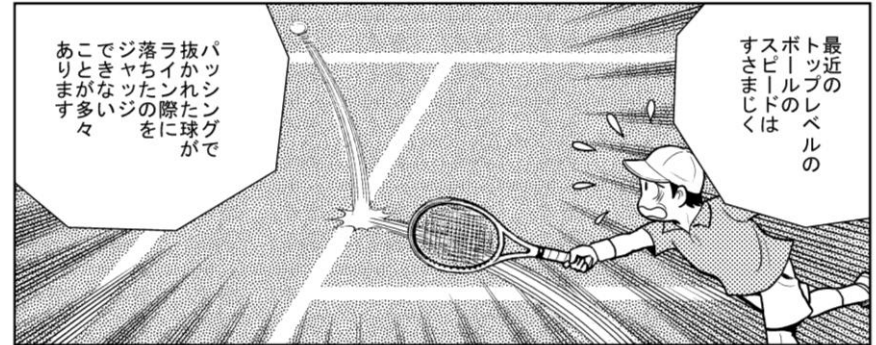
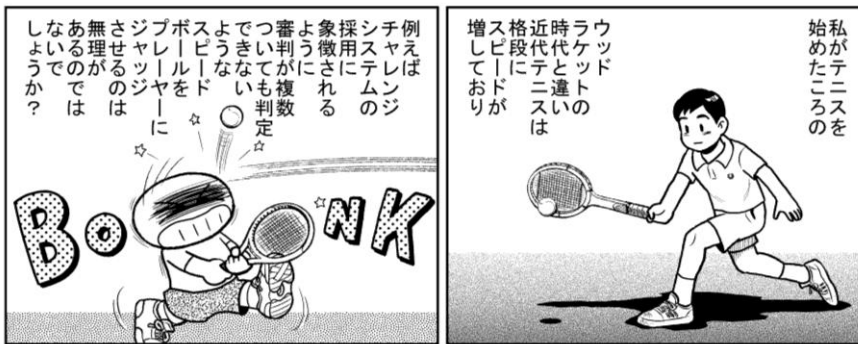
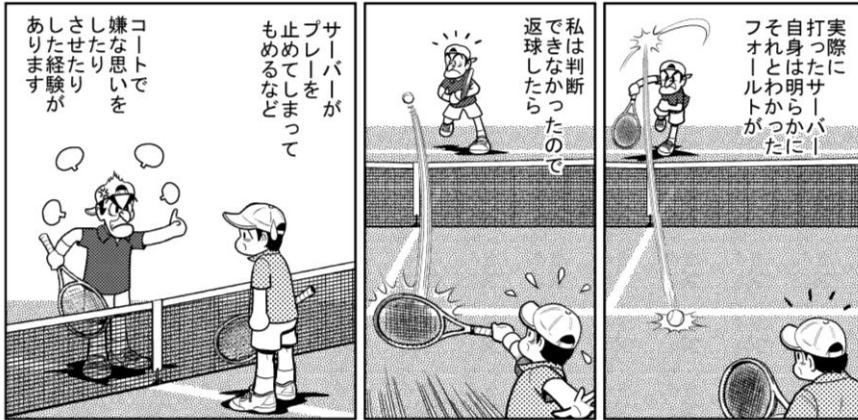
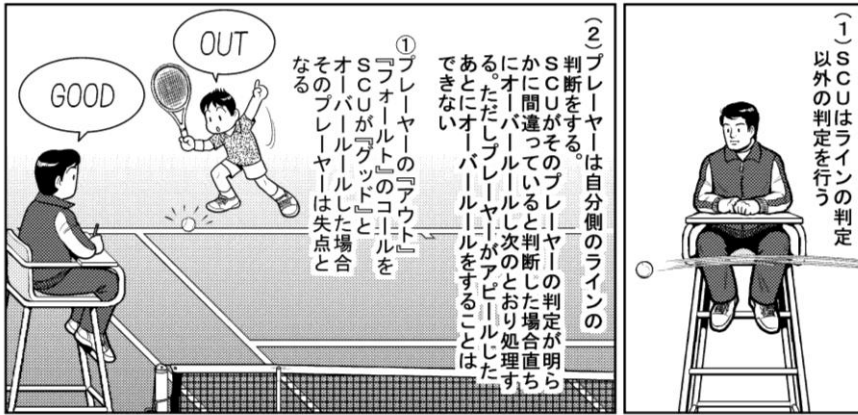


困ったときのSCU

監修 ● 岡村徳之 (ITF国際テニス連盟、ATP、WTA国際審判員)



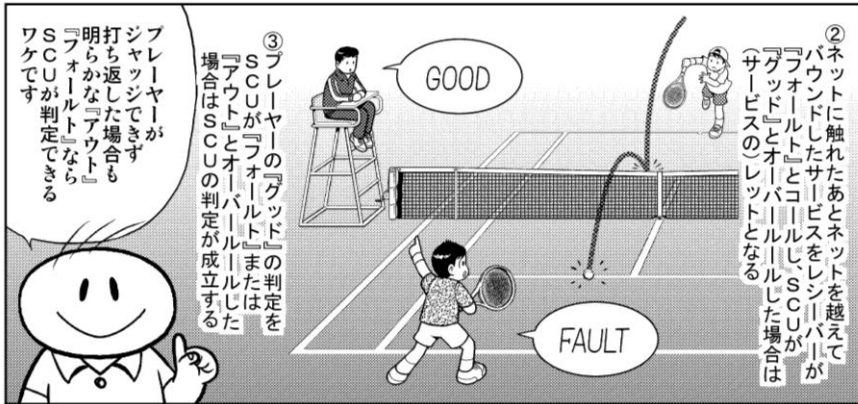




(1) SCUはラインの判定以外の判定を行う

(2) プレーヤーは自分側のラインの判断をする。SCUがそのプレーヤーの判定が明らかに間違っていると判断した場合直ちにオーバールールし次のとおり処理する。ただしプレーヤーがアビールしたあとにオーバールールをすることはできない

① プレーヤーの『アウト』『フォールト』のコールをSCUが『グッド』とオーバールールした場合そのプレーヤーは失点となる



② ネットに触れたあとネットを越えてバウンドしたサーブをレシーバーが『フォールト』とコールし、SCUが『グッド』とオーバールールした場合は『サーブ』の『レット』となる

③ プレーヤーの『グッド』の判定をSCUが『フォールト』または『アウト』とオーバールールした場合はSCUの判定が成立する

プレーヤーが打ち返した場合も明らかに『アウト』『フォールト』ならSCUが判定できるわけですよ

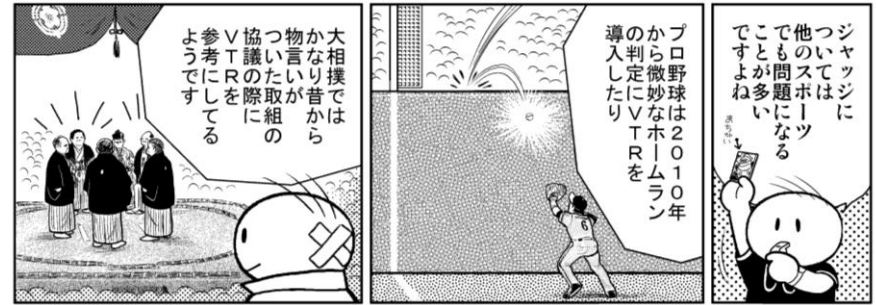


(3) 『レット』『ネット』はSCUがコールする。プレーヤーが誤って『レット』または『ネット』をコールした場合は以下のとおり処理する

① そのコールによってプレーヤーが停止された場合は、コールをした選手の失点

② そのコールにかかわらずプレーヤーがボールを打ち続けた場合は、ボールがコートに入った時点でSCUの判定が成立する

③ そのコールに両選手が同意し、やり直している場合は『レット』または『ネット』としてやり直す



大相撲ではかなり昔から物言いがついていた取組の協議の際にVTRを参考にするようですよ



プロ野球は2010年の判定にVTRを導入したり



ジャッジに他のスポーツでも問題になることが多いですよ



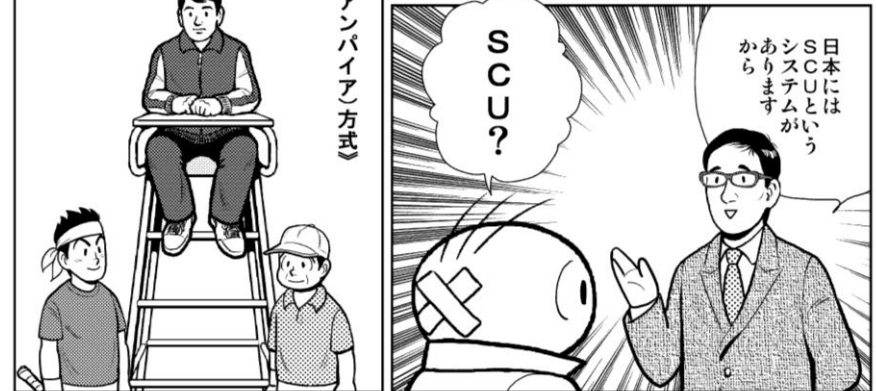
もちろん人間のやることですから間違いはあります。すべての試合に審判がつくのが理想ですが、現実にはコストなどの理由から難しいでしょう

てにバカの『負け審』について試合に負けたプレーヤーが次の試合の審判をやることになったけど、最近はやまらぬかな



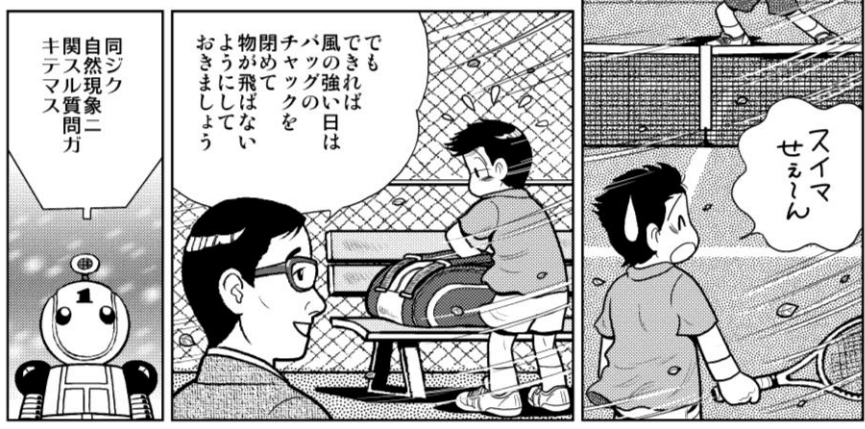
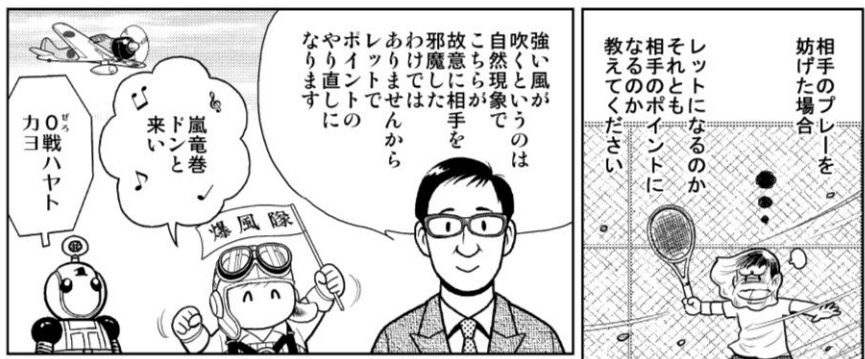
試合中もジャッジが困難であれば、ロービングに相談してみよう

《SCU(ソロチェアアンパイア方式)》
線審のつかない試合では、ラインヤーがし、チェアアンパイアがそれ以外の判定をする方法がある。これをソロパイア方式と呼ぶ



日本にはSCUというシステムがありません

SCU?



テニスクラシックBreak誌掲載(日本文化出版)
まんが:いしかわせいちゆん